褥瘡予防研究会

「車いすクッションの活用」

太陽シルバーサービス株式会社　久留米営業所　松本　秀雄

褥瘡は寝たきりの人や長時間同じ姿勢を続けた際に体に圧力がかかり血流が悪くなったり、止まったりする事で皮膚の状態が悪くなり褥瘡が発生します。褥瘡を予防するにはこまめな寝返りをするなどの体位変換が重要です。この際に自分で寝返りが出来ない方は介護者が定期的に向きを変えていたり、体位変換機能のあるエアマットレスを利用し褥瘡の予防を図っています。

褥瘡を予防する為にエアマットを利用したいという相談は良くケアマネージャーさんからうけますが、軽視されているのが車いすを利用する際の車いすクッションの重要性です。

特に標準型や軽量タイプの車いすの場合は座面のシートが薄く長時間座っていると褥瘡の発生リスクがあります。特に通院時に車いすを利用したいと方の多くが持ち運びの際の重量を気にされます。通院に利用するだけだから大丈夫であると思われる方が多くおられます。病院の待ち時間などは長時間になることも多い為、是非とも車いすクッションを利用し褥瘡の予防をして欲しいと福祉用具専門相談員として思います。